

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備） 事後評価書

平成28年4月15日

計画の名称	1 飛騨市における循環のみちの実現									
計画の期間	平成22年度～平成26年度（5年間）				交付対象	飛騨市				
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。									
計画の成果目標（定量的指標）	①下水道を利用できる人口を率で表し、それを70%(H22)から73%(H26)に増加させる。 ②今後の流入量の増加に伴い、水処理施設を増設する。3系列/3系列（75%(H22)→100%(H26)） ③下水処理場における長寿命化計画策定率を0%(H22)から100%(H26)に増加させる。 ④今後の発生汚泥量の増加に伴い、汚泥焼却施設を増設する。2系列/2系列（50%(H22)～100%(H26)） ⑤下水処理場の老朽化に伴い、水処理施設（機械設備）を改築する。3施設/3施設（0%(H24)→100%(H26)）									
定量的指標の定義及び算定式							定量的指標の現況値及び目標値		備考	
							当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)	
① 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口(人)/総人口(人)							70%	72%	73%	
② 水処理施設を増設 整備済みの水処理施設(系列)/整備すべき水処理施設(系列)							75%	100%	100%	
③ 下水処理場における長寿命化計画策定率 長寿命化計画策定済みの処理場数(箇所)/長寿命化計画を策定すべき処理場数(箇所)							0%	25%	100%	
④ 汚泥焼却施設を増設 整備済みの焼却施設(系列)/整備すべき焼却施設(系列)							50%	50%	100%	
⑤ 下水処理場における水処施設改築 改築済みの水処理施設(施設)/改築すべき水処理施設(施設)							0%	0%	100%	
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,070.6百万円	A	971.8百万円	B	- 百万円	C	98.8百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	9.2%
事後評価										
○事後評価の実施体制、実施時期										
事後評価の実施体制						事後評価の実施時期				
飛騨市環境水道部内で実施						平成28年度				
						公表の方法				
						本市ホームページ				

1. 交付対象事業の進捗状況																	
交付対象事業																	
A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
1. 古川処理区																	
A1-1-1	下水道	一般	飛騨市	直接	飛騨市	汚水	新設	太江地区面整備 (未普及解消)	φ75~150mm L=2.7km A=5.6ha	飛騨市						175.6	
A1-1-2	下水道	一般	飛騨市	直接	飛騨市	水処理	増設	古川浄化センター水処理施設 (水質保全)	水処理機械電気(2200m3/日)	飛騨市						179.0	
A1-1-3	下水道	一般	飛騨市	直接	飛騨市	水処理・汚泥処理	改築	長寿命化計画策定業務	計画策定するための委託業務	飛騨市						12.8	長寿命化
A1-1-4	下水道	一般	飛騨市	直接	飛騨市	汚泥処理	増設	みずほクリーンセンター整備工事	-	飛騨市						0.0	
A1-1-5	下水道	一般	飛騨市	直接	飛騨市	水処理	改築	古川浄化センター水処理施設改築(長寿命化・処理場)	自動除塵機・空調設備等改築 1式	飛騨市						52.6	長寿命化
2. 船津処理区																	
A1-2-1	下水道	一般	飛騨市	直接	飛騨市	汚水	新設	坂巻地区面整備 (未普及解消)	φ75~150mm L=4.0km A=24.3ha	飛騨市						267.7	
A1-2-2	下水道	一般	飛騨市	直接	飛騨市	汚水	新設	梨ヶ根・寺林地区面整備 (未普及解消)	φ150mm L=2.4km A=4.2ha	飛騨市						166.2	
A1-2-3	下水道	一般	飛騨市	直接	飛騨市	汚水	新設	船津地区面整備 (未普及解消)	φ75~150mm L=1.4km A=6.0ha	飛騨市						112.9	
3. 全域																	
A1-3-1	下水道	一般	飛騨市	直接	飛騨市		全種	効率的な事業実施のための検討	検討資料作成 一式	飛騨市						5.0	
A1-3-2	下水道	一般	飛騨市	直接	飛騨市	水処理・汚泥処理	改築	長寿命化計画策定業務	計画策定するための委託業務	飛騨市						0.0	長寿命化
合計															971.8		
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
1. 古川処理区																	
C1-1-1	下水道	一般	飛騨市	直接	飛騨市	新設	太江地区枝線末端管整備 (未普及解消)	φ150mm L=0.4km A=1.1ha	飛騨市							16.3	
2. 船津処理区																	
C1-2-1	下水道	一般	飛騨市	直接	飛騨市	新設	坂巻地区枝線末端管整備 (未普及解消)	φ100~150mm L=0.5km A=3.7ha	飛騨市							30.2	
C1-2-2	下水道	一般	飛騨市	直接	飛騨市	新設	梨ヶ根・寺林地区枝線末端管整備 (未普及解消)	φ150mm L=0.7km A=0.9ha	飛騨市							42.2	
C1-2-3	下水道	一般	飛騨市	直接	飛騨市	新設	船津地区枝線末端管整備 (未普及解消)	φ100~150mm L=0.2km A=1.5ha	飛騨市							10.1	
合計															98.8		
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	
C1-1-1	基幹事業である幹線と接続した枝線末端管整備を一体的に行うことにより、普及率の向上が図れる。																
C1-2-1	基幹事業である幹線と接続した枝線末端管整備を一体的に行うことにより、普及率の向上が図れる。																
C1-2-2	基幹事業である幹線と接続した枝線末端管整備を一体的に行うことにより、普及率の向上が図れる。																
C1-2-3	基幹事業である幹線と接続した枝線末端管整備を一体的に行うことにより、普及率の向上が図れる。																

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

- ・古川処理区および船津処理区において面整備を実施し、普及率を向上させたことで、快適な暮らしの実現に寄与した。
- ・古川浄化センターの水処理施設を増設し、快適な暮らしの実現に寄与した。
- ・古川浄化センターの長寿命化計画策定により事故の未然防止及びライフサイクルコストの最小化を推進し、安全・安心な暮らしの実現に寄与した。
- ・策定した長寿命化計画に基づき古川浄化センターの施設の改築更新を実施し、事故の未然防止及びライフサイクルコストの最小化を図り、安全・安心な暮らしの実現に寄与した。

II 定量的指標の達成状況	指標① (下水道処理人口普及率)	最終目標値	73%	目標値と実績値に差が出た要因
		最終実績値	73%	
	指標② (水処理施設を増設)	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因
		最終実績値	100%	
	指標③ (下水道処理場における長寿命化計画策定率)	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因
		最終実績値	25%	
	指標④ (汚泥焼却施設を増設)	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因
		最終実績値	50%	
	指標⑤ (下水道処理場における水処施設改築)	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因
		最終実績値	100%	

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況
(必要に応じて記述)

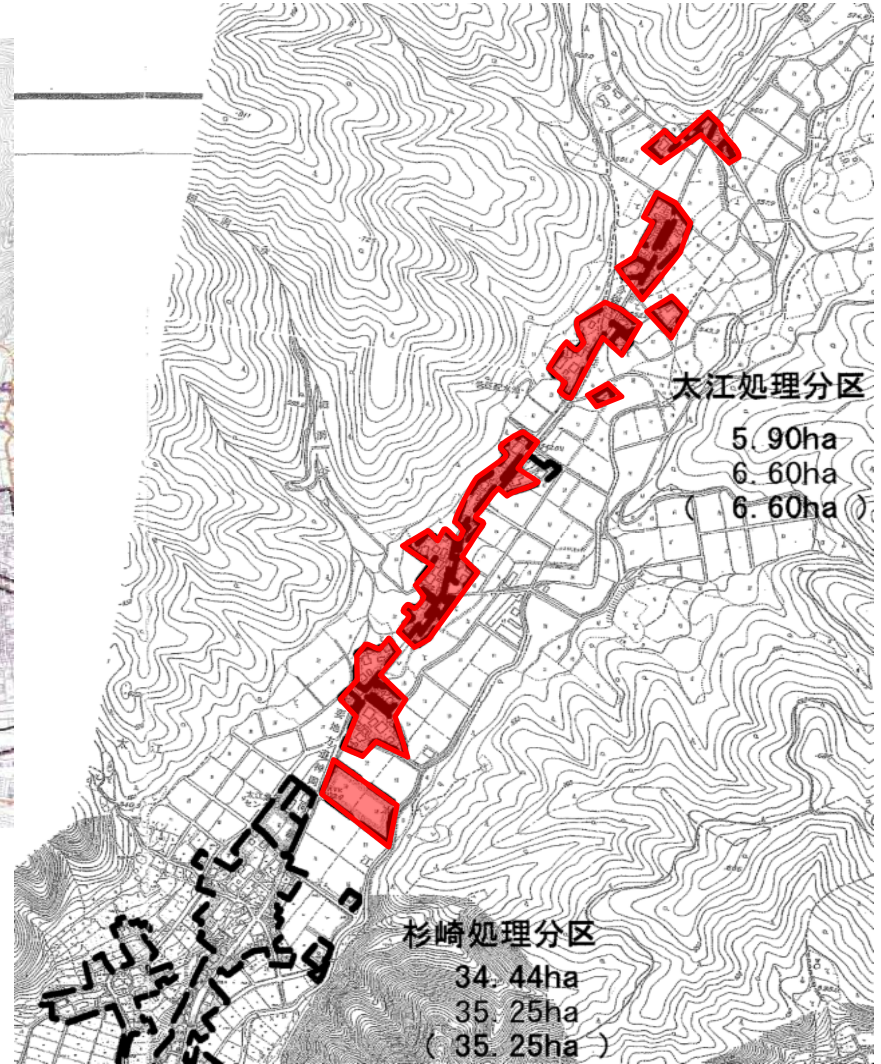
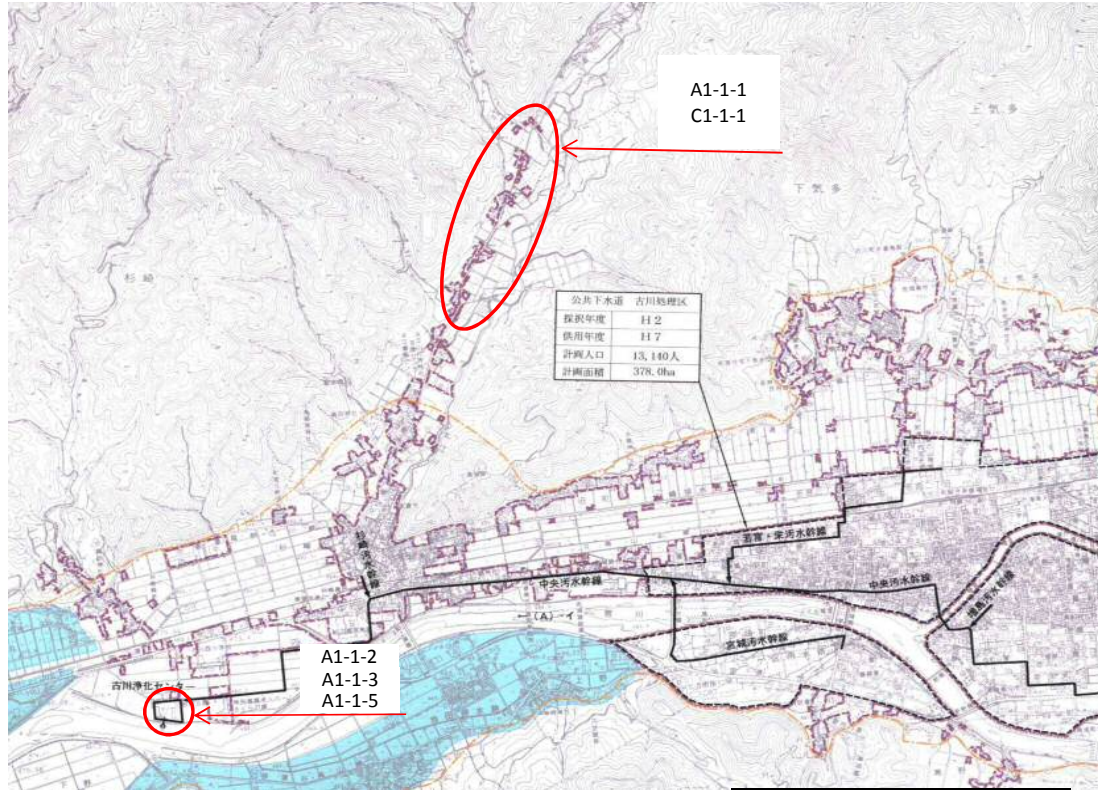
3. 特記事項 (今後の方針等)

今後も引き続き船津処理区の面整備を進めていき、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造することに寄与していく。
また、施設の長寿命化を推進し、事故の未然防止及びライフサイクルコストの最小化に取り組んでいく。

(参考様式3) (参考図面) 水の安全・安心基盤整備

計画の名称	飛騨市における循環のみの実現		交付対象	飛騨市
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)			

古川処理区

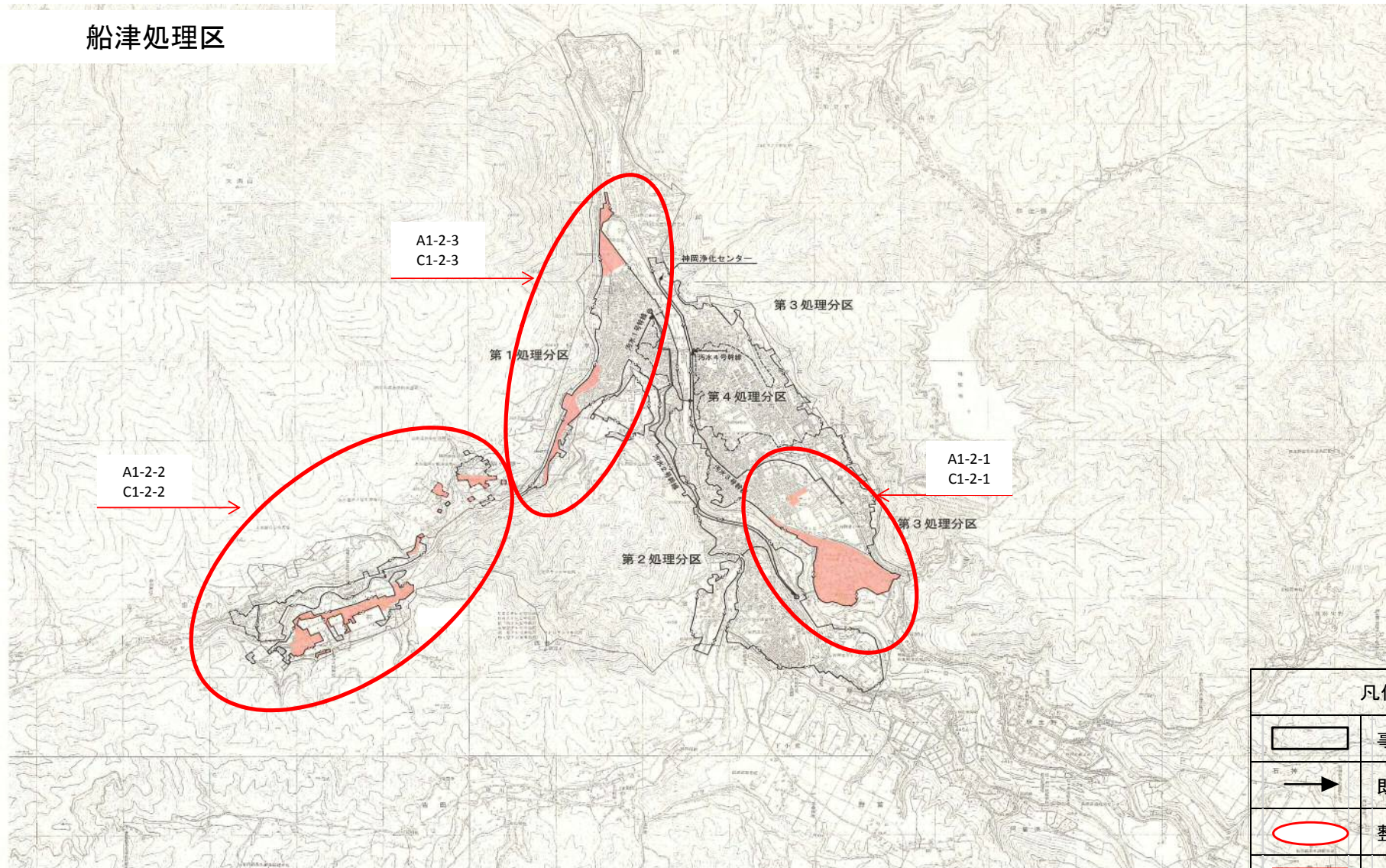


凡例	
	事業区域界
	既設幹線
	整備地区
	整備箇所

(参考様式3) (参考図面) 水の安全・安心基盤整備

計画の名称	飛騨市における循環のみの実現		
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度 (5年間)	交付対象	飛騨市

船津処理区



凡例	
	事業区域界
	既設幹線
	整備地区
	整備箇所